

# 令和5年度 第2回専門部会

## バリアフリー推進に向けた今後の展開

Barrier Free



# スパイラルアップによるバリアフリー化の取組

## さいたま市バリアフリー基本構想 令和4年3月改定

### ■基本理念と目標

#### 基本理念

「みんなが創って育てる共生のまち・さいたま市」

目標年度：令和7年度

目標1：計画的なバリアフリー化施設の整備を進めます。

取組方針▶鉄道駅、道路、建築物等の物理的なバリアフリー整備

目標2：バリアフリーをみんなで理解し支えあう体制をつくります。

取組方針▶市、事業者、市民、学校教育等の心のバリアフリーの取組

目標3：バリアフリー化施設や取組をみんなに伝えます。

取組方針▶バリアフリーに関する情報発信

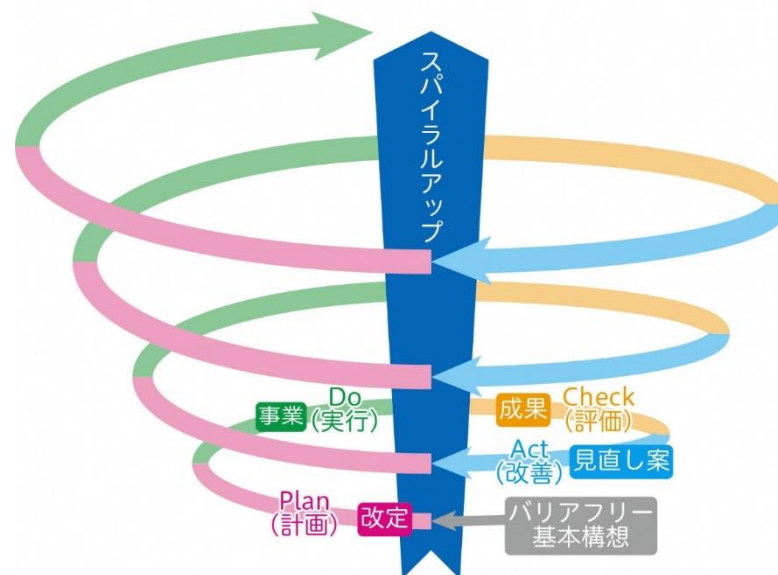
### ■段階的・継続的な取組

- ▶ バリアフリー専門部会などにより、基本構想の進捗のフォローアップを継続的に実施
- ▶ 定期的なバリアフリー点検「まちあるき勉強会」の実施
- ▶ 当事者参加のもと検証し、その検証結果に基づいて新たな施策や措置を講じる



バリアフリー施策の段階的・継続的な発展を図る

みんなが創って育てる共生のまち・さいたま市



# スパイラルアップによるバリアフリー化の取組

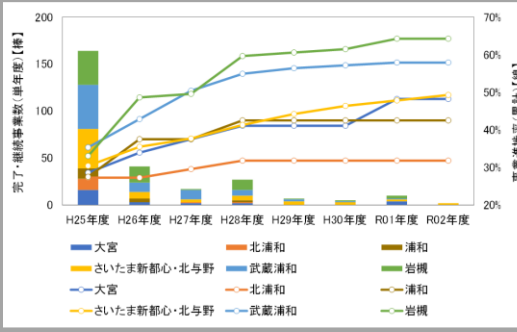
## ■従来の点検・調査に新たな利用アンケート調査の追加

### 事業者側からの評価

### 利用者側からの評価

これまで

#### 事業進捗率により定量的に評価



専門部会での指摘

利用者目線での評価が  
足りていない

#### 「まちあるき勉強会」を通じた現地確認



※調査対象エリアは限定的

継続

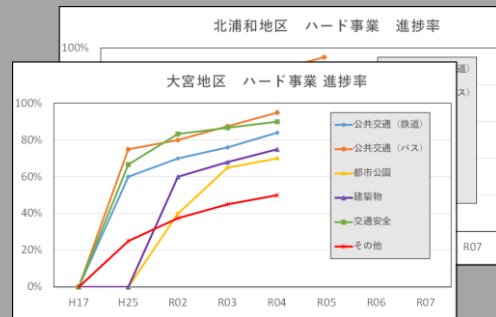
効果検証

地区全体を調査

継続

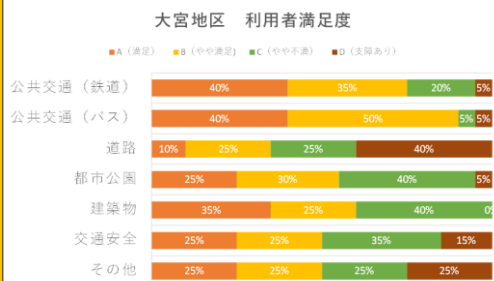
これから

#### 分析方法を改良しながら継続



連動

#### アンケートによる満足度調査



補完

#### 「まちあるき勉強会」を継続

- ・アンケート調査の補完
- ・バリアフリー情報の収集

など

従来の事業進捗(成果)による評価とまちあるきに加え、アンケート調査の実施により利用者の満足度(効果)を把握し、更なるバリアフリー化を推進する

# スパイラルアップによるバリアフリー化の取組

3つの調査が相互に連動・補完して、実施状況や改善点を事業者や市民へ周知していくとともに、基本構想の見直し等に活用して、今後のバリアフリー化の推進に役立てる。

## ■各調査の活用イメージと相互補完

▲:課題となる点      ○:課題となる点を補完する点

調査	① 事業進捗管理	② 利用者アンケート調査	③ まちあるき勉強会
対象地区	重点整備地区		
実施内容	事業進捗状況を調査	利用者目線の満足度等を把握	高齢者・障害者等の市民参加により、現地のバリアフリー状況を点検
活用のイメージ	事業者側の評価として、定期的・定量的に事業進捗を確認・評価	事業進捗率との組み合わせで地区の課題分析などに活用	具体的な好事例、課題例として事業者へ展開 今後の基本構想改定時の事業内容の検討に活用
対象範囲	○全特定事業	○地区内を対象	▲地区内の限定的な箇所 (サンプル的な調査)
評価の特徴	▲利用者目線の評価が不足  ○具体箇所が分かる  ○総合的な評価が可能	○利用者目線の評価  ▲具体の改善点が把握しにくい  ○総合的な評価が可能	○利用者の意見  ○具体箇所が分かり改善方法の確認が可能  ▲利用者視点の多様性が不足する可能性がある

# バリアフリー推進に向けた今後の展望

事業進捗状況及びアンケート調査やまちあるき勉強会による利用者意見を踏まえて、基本構想の見直しや事業者・施設管理者への周知を行い、バリアフリー化を推進していく。

## ■基本構想の目標年次以降を見据えた今後の展望



期間	5年間					5年間				
年度	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
①事業進捗管理	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	年度ごとの事業進捗の把握 (各事業者・施設管理者の事業進捗状況)					年度ごとの事業進捗の把握 (各事業者・施設管理者の事業進捗状況)				
②利用者アンケート調査	5年ごとの実施 ●プレ調査 ●本調査(6地区)					5年ごとの実施 ●				
③まちあるき勉強会	事業進捗管理・利用者アンケート調査の結果を踏まえ、事業実施の機会をとらえて適宜実施 ●R5大宮地区 ● ● ● ●									
基本構想の見直し	5年ごとの評価 (目標・取組内容の見直し等、社会的な背景の変化に応じて柔軟に対応、必要に応じて基本構想を見直し)					5年ごとの評価				

# バリアフリー推進に向けた今後の展望

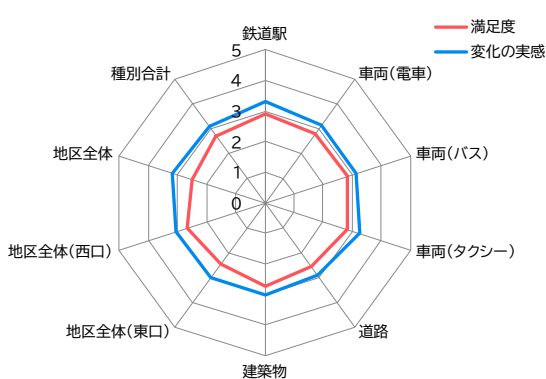
- 重点整備地区同士の比較ではなく、地区ごとに事業進捗（成果）と利用者意見（効果）を総合的に確認していく
- 確認結果を参考に、基本構想で重点的に取り組むバリアフリー化事業としてまとめ、事業者へ提供するとともに、短期的に改善が必要な維持管理上の課題は関係事業者へ情報提供するなどしていく

（例）大宮地区  
まとめイメージ

## 【①事業進捗管理】

上段：総事業数 中段：完了・継続中の事業数	大宮駅周辺地区				
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
公共交通特定事業	16 69%	16 81%			
道路特定事業	27 16 59%	13 17 63%			
その他事業 (補完経路)	7 3 43%	7 3 43%			
その他事業 (歩行者デッキ)	0 0	0 0			
その他事業 (バリアフリー経路共通)	1 1 100%	1 1 100%			
交通安全特定事業	3 3 100%	3 3 100%			
建築物特定事業	218 101 46%	218 106 49%			
都市公園特定事業	0 0	0 0			
その他事業	7 5 71%	7 5 71%			
総計	279 140 50%	279 148 53%			

## 【②利用者アンケート調査】



## 【③まちあるき勉強会】

●:良い点 ▲:気づいた点

＜主な意見＞

▲交差点近くにあるデジタルサイネージの音で、音響式信号の音が聞こえにくい。

＜主な意見＞

●通路は広く歩きやすい。

●新しい石のベンチが多く設置されていてよい。

▲舗装ブロックと誘導用ブロックの凹凸の区別が分からない。

交差点付近のサイネージ

歩行者デッキ(視覚障害者誘導用ブロック)

## 【総合評価】

	①事業進捗管理	②利用者アンケート調査 満) 満足度/変) 変化の実感	③まちあるき勉強会	総合評価
公共交通特定事業	進捗率 81%	●鉄道駅 満) 2.90 変) 3.29 ●電車 満) 2.80 変) 3.16 ●バス 満) 2.83 変) 3.14 ●タクシー 満) 2.85 変) 3.24	・鉄道駅ではホームドアや音声案内が導入されているが、音声案内が反響して聞きにくいとの声あり。 ・バス運転手の対応やバス車内の案内表示は好評であった。	・事業進捗率は約80%と高いが、満足度が半分以下で低くなっている。 ・変化の実感が高いことから、バリアフリー化は進んできているものの、さらなるバリアフリー化を望んでいることがうかがえる。
道路特定事業、 その他事業(補完経路、 歩行者デッキ等)	道路 63% その他補完 43% バリアフリー経路共通 100%	●道路 満) 2.57 変) 2.91	・東口・西口ともに、整備された新しい道路は非常に好評であった。 ・維持管理面でも評価されていた。	・事業進捗率は約60%で進んできているが、満足度・変化の実感ともに半分以下で、ともに低くなっている。 ・維持管理の継続と事業実施により、評価の向上が期待できる。
交通安全特定事業	進捗率 100%	●音響式信号 満) 2.85 変) 3.24	・音響式信号の稼働時間や周辺環境の影響の大切さが挙げられた。	・事業進捗率は継続事業が多いため100%となっている。 ・満足度は半分以下だが、変化の実感が高いことから、以前よりもバリアフリー化が進んできていると評価されている。
建築物特定事業	進捗率 49%	●建築物 満) 2.72 変) 3.01	・新しい建物は気になる点もあったが、概ね高評価であった。	・事業進捗率は約50%だが、満足度は半分以下で低くなっている。 ・利用者の実感としては、さらなるバリアフリー化を望む評価といえる。
総計	進捗率 53%	●東口全体 満) 2.48 変) 3.01 ●西口全体 満) 2.67 変) 3.04 ●地区全体 満) 2.50 変) 3.16	・東口のまち新しさが良いとの意見や西口のメンテナンスが良くされているとの意見などがあつた。	・事業進捗率は約50%で、満足度は低く、変化の実感が高くなっている。 ・地区全体での利用者の実感として、最近のバリアフリー化が認められているものの、さらなるバリアフリー化を望む評価といえる。



# バリアフリー推進に向けた今後の展望

令和6年度は、本資料でお示しした今後の展望を踏まえ、重点整備地区6地区を対象に利用者アンケート調査の実施を予定しております。  
調査の実施にあたって、以下のご協力をお願いいたします。

## ●調査実施に向けて

- ・ アンケート調査は、令和5年度の大宮地区での事前調査をベースに実施します。
- ・ 調査の実施方法や、各地区にあわせた調査票は事務局で案を作成します。
- ・ 作成した案については、各委員の皆様を確認の依頼をさせていただくこともありますので、ご協力をお願いします。
- ・ 調査実施時は、大宮地区での事前調査と同様に、各委員ご所属の関係団体に回答のとりまとめを依頼いたします。ご協力のほどよろしくをお願いいたします。